〆切12/18（日）

2022年度春編

地域連携ワークショップ

参加学生募集中！

自治体が実際に直面している課題について、現地を訪問してのフィールドワークや
地域住民へのヒアリングを通じて地域社会への理解を深め、チームで首長をはじめとする
自治体の関係者に解決策を直接提案する実践型の課外活動です。

※応募の際には事前説明会への参加が必須です。

詳細はこちら
（事前説明会情報など）

応募〆切：12/18(日)

WASEDA_PBL_PROGRAM

Instagramで
ワークショップの様子を
発信中！

連携先	テーマ
木島平村（長野県）	子育て世帯が住みたい田舎No.1になるための施策を考えよう
燕市（新潟県）	若者で賑わう「未来の商店街」をつくる事業を考えよう ～燕市を若者の力で変える～
津山市（岡山県）	「津山らしさ」の再発見と誘客施策を提案せよ！ ～津山市を屋根のない博物館に！～
南伊豆町（静岡県）	若者の“旅したい”を引き出すPR施策を提案せよ！

※上記の内容は変更となる場合があります。詳細は教育連携課ウェブサイト（QRコード）をCheck!!

【問い合わせ先】早稲田大学　教務部　教育連携課
TEL：03-5286-8334　MAIL：rbso@list.waseda.jp

〆切12/18（日）

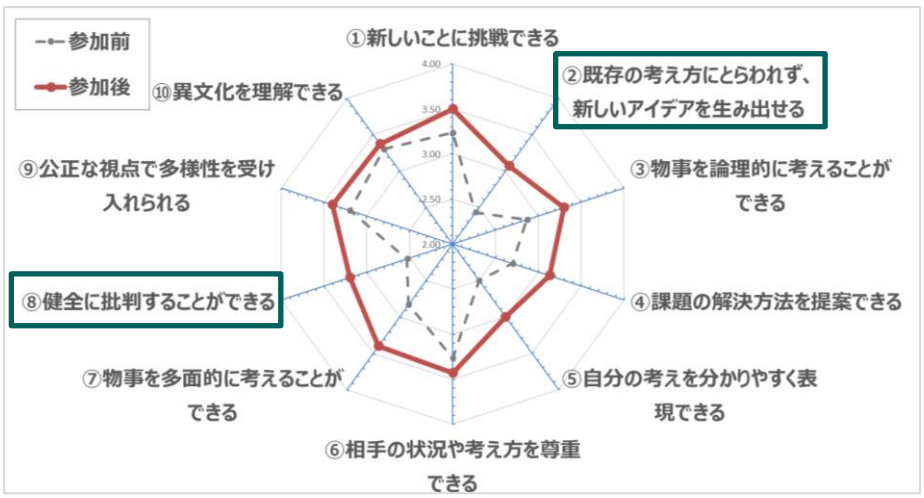
2022年度春編 参加学生募集

地域連携ワークショップ

地域連携ワークショップの魅力POINT

1. 地域を学びの場として、実在する課題の解決、地方創生に携わる
2. 現地でのフィールドワークを通して、地域の魅力・可能性を知る
3. 様々なバックグラウンドをもつ学部学年を越えた学生がチームで取り組む

参加学生が実感したスキルの成長



「学生・教員が語る 地域連携ワークショップの魅力」

ワークショップの魅力について、動画でご紹介しております。QRコードを読み取って、ぜひご覧ください！

【参加学生の声※抜粋】

自分が住む地域をよりよくするために、行政の方々だけでなく、ヒアリングで話をお伺いした方々がそれぞれに熱い思いをもっていらっしゃることが印象的でした。今思うと、ワークショップ参加前は「地域貢献」「地方創生」といったキーワードを軽く考えていたと思います。【教育学部1年】

このワークショップでは地域の皆さんの温かさや愛を感じながら、自分もその人達のためにできることを精一杯にやりきれたと思います。グループだからこそできることがあることや人を動かすためのプレゼン方法を学ぶことができました。自分を高めるための挑戦をこのワークショップで終わらせず継続していきたいです。【創造理工学部2年】

多くのヒアリングを通してWho?やWhat?、How?を突き詰めていった期間だったなと実感しています。地域に入ることの難しさと面白さ、地域を変えることの難しさと面白さを実感しながら、メンバー5人と一つの施策を提案したことはかけがえのない経験になりました。【人間科学部3年】

今までの大学生活で一番濃い日々を過ごせたように感じます。特に中間発表でたくさんのダメ出しを受けた後は今までにないくらいに集中して取り組むことができました。関係者からの現実的な指摘や示唆は、普段の大学生活では受けることがないものだったため、対応するのが大変だなと感じた反面、それだけ本気で向き合ってくれているのだと実感し、私たちも本気で施策を考えることができました。【国際教養学部4年】

【問い合わせ先】早稲田大学　教務部　教育連携課
TEL：03-5286-8334　MAIL：rbso@list.waseda.jp